

# 全体を通してのコメント

## 第一章

### 演習問題 1、2 について

ほぼ、理解されているようですので、特に問題はありません。

ポテンシャルは、力が「保存力」であるときだけ「位置のみの関数として与えられる状態量」となることに注意してください。摩擦力は非保存力であるため、摩擦を考慮した系における仕事は経路に依存することになります。

## 第二章

### 演習問題 1、2 について

ほぼ、理解されているようですので、特に問題はありません。

### 演習問題 3 について

皆さん、ご自身の中で、きちんとイメージを持たれているようです。全く問題ありません。

# 江森 様

## 第一章

### 演習問題 1、2 について

ほぼ、理解されているようですので、特に問題はありません。

## 第二章

### 演習問題 1、2 について

理解されているようですので、特に問題はありません。

### 演習問題 3 について

ミクロに見たときの、液体中の分子の運動はきちんとイメージできています。

ただ、ここに書かれたミクロに見た粒子がすべての方向に移動可能な状態というのが、マクロな流れるということにどうつながるのかをもう少しイメージしたほうがいいと思います。居心地が悪くなった粒子が、居心地の良い状態となる方向へと移動することと捉えればいいと思います。

また、固体のような振る舞いをするということは、内部のミクロな移動速度よりも短い時間で移動させようとしたときに、粒子の移動が困難になって、生じていることも理解してください。

平井 様

## 第一章

### 演習問題 1、2 について

ほぼ、理解されているようですので、特に問題はありません。

反比例の意味や、組立単位等には注意してください。

## 第二章

### 演習問題 1、2 について

ほぼ、理解されているようですので、特に問題はありません。

液体の内部には一見してわかるような規則的な構造を持たないことは、流動の理解に重要ですから注意してください。

### 演習問題 3 について

ご自身の中で、きちんとイメージを持たれているようです。全く問題ありません。